

# ロータリー財団情報

ロータリー財団委員会 委員長

**溝畑正信**

(東大阪東RC)

## 【RI第1,2,3ゾーン会員基盤向上セミナー 第2日目 ～ロータリー財団を活用した奉仕活動の更なる実践の部～】

2015年3月31日(火)、ホテルオークラ東京別館 アスコットホールで開催され、当地区から泉G、立野GE、松本GN、宮里次年度R財団委員長、栗原次年度広報委員長、松下資金推進小委員長、溝畑R財団委員長・次年度第3ゾーンR財団地域コーディネーター補佐が参加しました。

\*15-16年度ロータリー財団の優先項目と具体的目標として、「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」という3つの項目を柱としたロータリー戦略計画を支えるため、2015年7月1日に始まる3年間のロータリー財団の優先項目が提案されました。

優先項目1：永久にポリオを撲滅する

優先項目2：ロータリー財団に対するロータリアンの知識、参加、寄付を向上させる。

優先項目3：財団の補助金と6つの重点分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める。

優先項目4：ポリオプラスにおける成果と「世界でよいこと」をしてきた100年の歴史に特に注目し、財団によるこれまでの実績に対するイメージと認識を高める。

\*セミナープログラムでは、次期ロータリー財団地域コーディネーターから、2015年3月16日～19日米国エバンストンでの研修セミナー報告、ロータリー財団の活動実践事例発表として、「タイ東北地区における先端的家畜人工授精技術の伝授」「ネパール看護師能力向上プロジェクト(VTT)」、ロータリー財団奨学生体験発表があり、またロータリー平和フェローについて、グローバル補助金の更なる活用に向けて、奨学生の募集方法・PR、留学生のホストクラブの探し方、奨学生と将来どのように関わっていくか、グローバル補助金の取り組み方と手続き「Initial Talkの手順」、ロータリーカードの普及について「ロータリーカードで社会貢献を」、ポリオプラス「END POLIO NOW：歴史に1ページを刻もう」、ロータリー財団地域セミナーアンケート報告及び同アンケートを通して得たもの、「My Rotary」アカウント登録方法等の報告がなされました。

## 【ロータリー学友の定義の拡大】

RI理事会とロータリー財団管理委員会は最近、ロータリー学友の定義を拡大し、財団に限らずすべてのロータリープログラム(以下)に参加した個人を含めることを決定しました。

インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)、ロータリー平和フェロー、グローバル補助金奨学金、職業研修チーム(チームメンバーならびにリーダー)、地区補助金奨学金、新世代交換、ロータリー財団の以前のプログラム(以下のプログラム)国際親善奨学金、大学教員のためのロータリー補助金、研究グループ交換、ロータリーボランティアです。

以上のプログラム参加者には、学友人道奉仕世界賞と最優秀学友賞の受賞資格があります。

## 【追加資金3,480万ドルをポリオ撲滅活動に】

ロータリーは、ポリオ撲滅活動に追加資金3,480万ドルの投入を決定しました。皆様から寄せられたこの資金は、WHO(世界保健機構)とユニセフによって使用され、野生ポリオウイルスが常在する3カ国(アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタン)を含む10カ国での予防接種活動とウイルス監視活動、またアフリカ諸国での技術サポートに活用されます。

## 【ポリオ症例数】

2015年4月14日現在のポリオ症例数です。

	2015年1月1日～4月14日	2014年
アフガニスタン	1	28
パキスタン	21	306
ナイジェリア	0	6
ポリオ常在国以外		
エクアトリアル・ギニア	0	5
イラク	0	2
エチオピア	0	1
カメルーン	0	5
ソマリア	0	5
シリア	0	1
世界合計	22	359